

ダニ・カビ・結露に要注意！対策をして快適な住まいに

日本の夏は高温多湿のため、ダニ・カビ・結露の発生が起こりやすい条件がそろっています。さらに最近の住宅は冷暖房を効率よく行うため気密性が高く、湿気がこもりやすいため、ダニ・カビ・結露が発生しやすくなっています。対策をして快適な住まいにしましょう。

それぞれの特徴について

【ダニ】

ダニは人が生活する場所であればどこにでも生息しています。ダニが増えると、アレルギー性ぜん息やアトピー性皮膚炎などの原因となるダニのふんや死骸（ダニアレルゲン）が増加します。

【カビ】

カビは部屋の中では水蒸気の発生しやすい場所、空気の流れのないよどんだ場所に発生しやすく、風呂場の壁、タンスなどの家具の裏、押入れなどによく発生します。カビを好んで食べるダニがいるため、カビが生えることはダニを増やすことにもつながります。

【結露】

空気が壁や窓ガラスなどの冷たい面に触れて温度が下がり、空気中の水分が水滴となって現れます。そのままにしておくと、建材や壁紙を傷めたり、カビ・ダニを発生させやすくなります。結露は冬だけでなく、夏にも発生します。夏場は温度が高く湿気も多いので、ほんの少し温度が低いところがあればすぐに結露します。



対策の基本は「換気」です！

ダニ・カビ・結露を防ぐには、湿度を下げるために換気をすることが重要です。窓を開けたり換気扇を用いたりして、積極的に換気をするよう心掛けましょう。

効果的な換気を行うためにはどうしたらいいの？

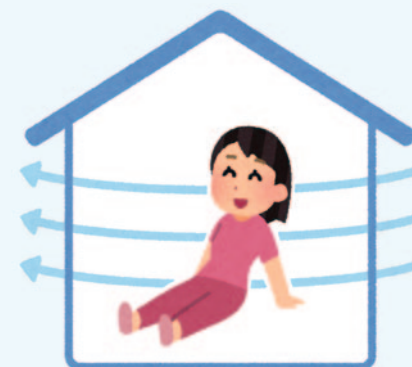
調理や入浴をするときには必ず換気扇を

調理や入浴などは、部屋の湿度を高める大きな原因です。必ず換気扇を利用して、湿気を追い出しましょう。



空気の入口と出口を作りましょう

空気の通り道を作ると効果的に換気ができます。部屋の対角線上に窓を2か所開け、空気の入口と出口をつくりましょう。



換気口を家具でふさいだり、閉め切ったりしないようにしましょう

風が入ってくるため、換気口を閉めたり家具でふさいだりしていませんか？換気の効率が悪くなりますので、換気口は常に開け、家具でふさがないようにしましょう。

24時間換気システムのスイッチは常時ONに

平成15年(2003年)に建築基準法が改正され、建物内に24時間換気ができる機械設備の設置が義務付けられました。最低限の換気を確保するシステムのため、スイッチは切らないようにしましょう。



お問合せ：台東保健所 生活衛生課 環境衛生担当 ☎ 3847-9455

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

台東区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています